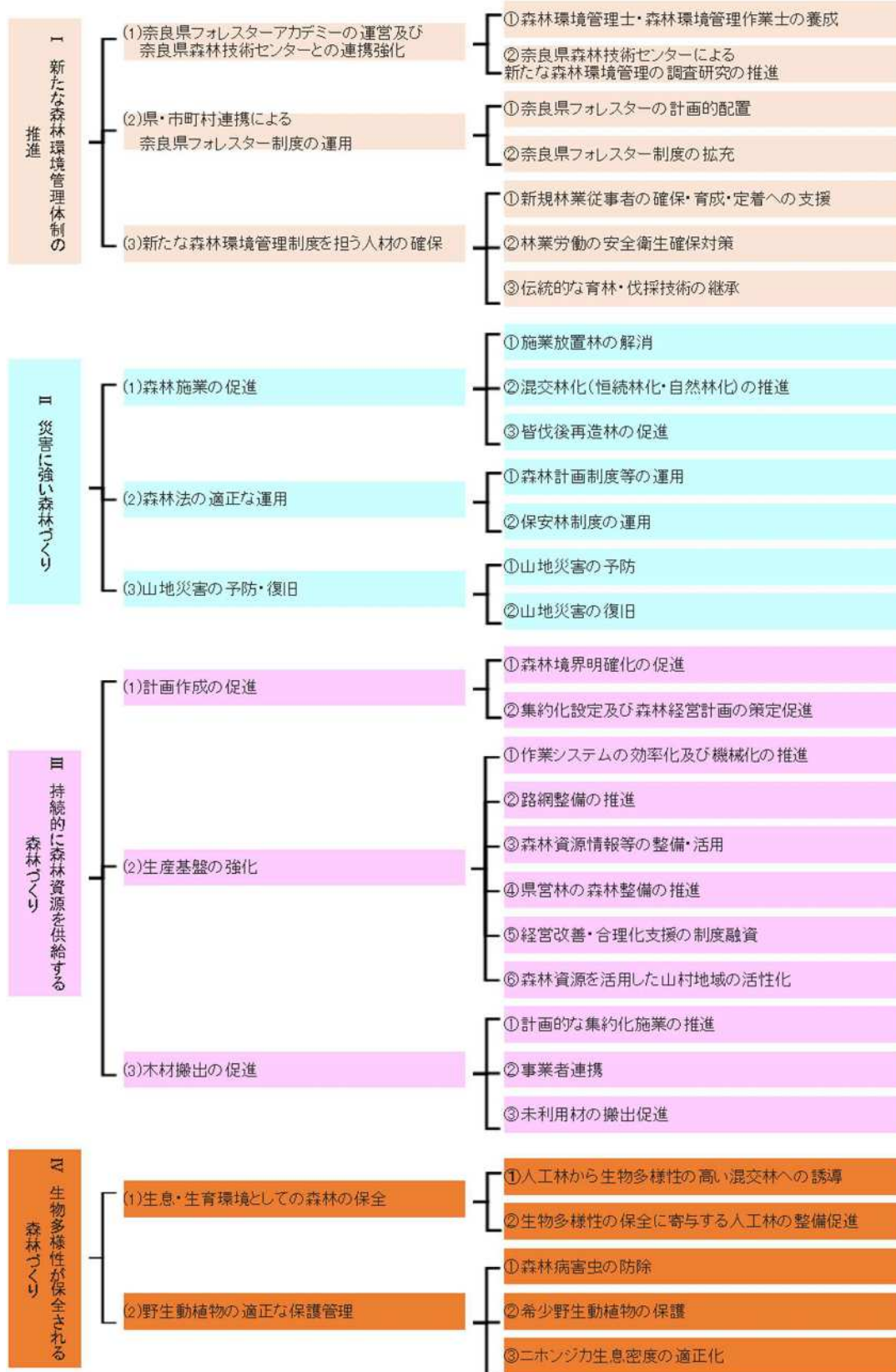
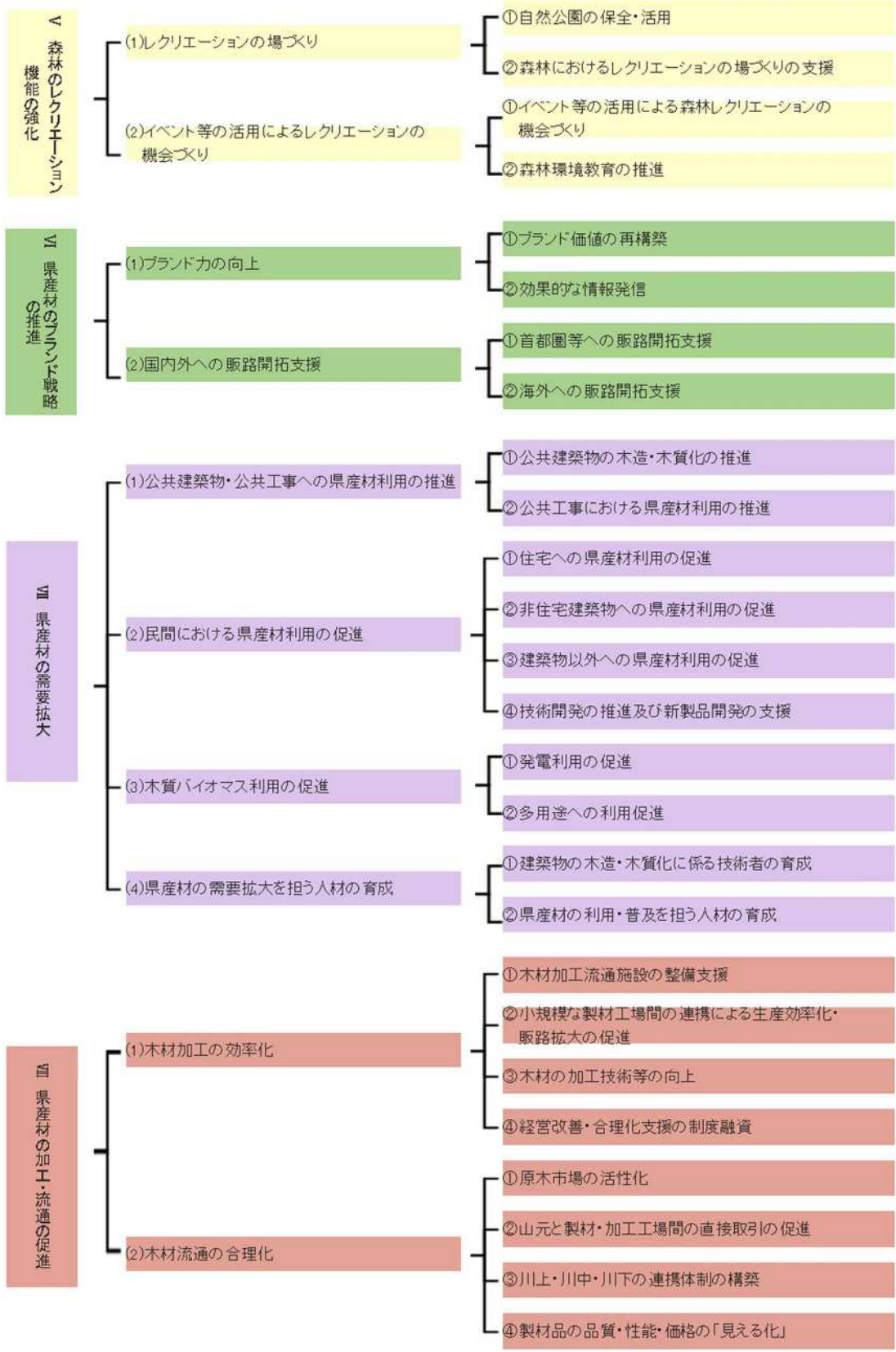


04

第4編 施策の展開

1. 施策体系





2. 施策の柱

1 新たな森林環境管理体制の推進

施策の方向

令和3年4月に開校した「奈良県フォレスターアカデミー」において、森林環境管理士、森林環境管理作業士を計画的に養成します。

また、森林技術センターの研究成果をフォレスターアカデミーのカリキュラムに反映するとともに、奈良県フォレスターの活動によって明らかになった課題を研究テーマとして取り上げることで、各主体の連携を強化します。

また、新たな森林環境管理体制の推進の担い手となる奈良県フォレスターを引き続き市町村に配置するとともに、奈良県フォレスターがこれまで以上に能力を発揮できる環境づくりを進めます。

また、林業事業者等における雇用の安定化、労働安全衛生水準の向上を図り、新たな森林環境管理制度を担う人材確保を促進します。

現状・目標値

指標設定の趣旨	指標項目	現況値	目標値(R12)	施策
森林環境管理士・森林環境管理作業士の養成の状況を評価する指標として活用	森林環境管理士・森林環境管理作業士 資格取得者数（累計）	60人 (R3-6 累計)	172人 (R3-12 累計)	奈良県フォレスター アカデミーの運営及び 奈良県森林技術センター との連携強化
奈良県フォレスターの市町村配置の状況を評価する指標として活用	奈良県フォレスターの 配置人数 (累計)	9人 (R5-6 累計)	30人 (R5-12 累計)	県・市町村連携による 奈良県フォレスター 制度の運用
森林環境管理を担う人材の確保の状況を評価する指標として活用	林業の新規従事者数 (期間累計)	127人 (R3-6 累計)	191人 (R8-12 累計)	新たな森林環境管理制度 を担う人材の確保

施策の概要

(1)奈良県フォレスターアカデミーの運営及び奈良県森林技術センターとの連携強化

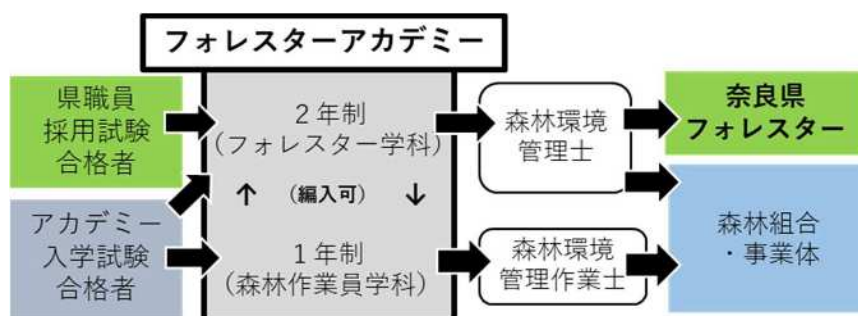
令和3年4月に開校した奈良県フォレスターアカデミーにおいて、森林環境の維持向上に関する専門的な知識を有し、かつそれを実践できる技術、技能を備えた人材（森林環境管理士・森林環境管理作業士）を養成します。

また、新たな森林環境管理では、広葉樹植栽や天然更新による混交林（恒続林・自然林）への誘導等を推進するために、その技術や誘導方法に関する調査研究を継続的に実施していきます。

目標 森林環境管理士・森林環境管理作業士を計画的に養成します。

関連指標

指標設定の趣旨	指標項目	現況値	目標値(R12)
森林環境管理士・森林環境管理作業士の養成の状況を評価する指標として活用	森林環境管理士・森林環境管理作業士資格取得者数（累計）	60人 (R3-6 累計)	172人 (R3-12 累計)



①森林環境管理士・森林環境管理作業士の養成

奈良県フォレスターアカデミーのフォレスター学科（2年制）において森林環境管理を実践・指導する「奈良県森林環境管理士」を、森林作業員学科（1年制）において森林の作業現場で高度な技能を発揮できる「奈良県森林環境管理作業士」を養成します。

事業例

- 奈良県フォレスターアカデミーの運営
- オープンキャンパスの開催
- 市町村や林業事業者等と連携したインターンシップの実施
- 就業準備給付金の給付
- フォレスター交流サロンを活用した情報共有（在校生・卒業生・県・市町村・林業事業体等）

②奈良県森林技術センターによる新たな森林環境管理の調査研究の推進

新たな森林環境管理を推進するため、スイス型林業の試験地（十津川村内、川上村内）の分析・調査を継続しながら、本県にふさわしい人工林の恒続林化のための技術・手法等の調査研究に取り組みます。

事業例

- スイス型林業の試験地（十津川村内、川上村内）の分析・調査
- 人工林の恒続林化のための技術・手法等の調査研究
- 紀伊半島3県連携による森林環境管理の推進方策等の研究
- 混交林化の効果調査

(2)県・市町村連携による奈良県フォレスター制度の運用

県は、職員（森林管理職）を奈良県フォレスターアカデミーで研修させ、奈良県フォレスターとして任命し、令和5年4月より市町村に配置しています。

奈良県フォレスターは、市町村に長期派遣され、地域の状況に応じた森林環境管理の推進役を担います。

また、奈良県フォレスターが継続的かつ最大限に能力を発揮するために必要となる奈良県フォレスター制度の拡充など、環境づくりに取り組みます。

目標 奈良県フォレスターを市町村に計画的に配置します。

関連指標

指標設定の趣旨	指標項目	現況値	目標値(R12)
奈良県フォレスターの市町村配置の状況を評価する指標として活用	奈良県フォレスターの配置人数(累計)	9人 (R5-6 累計)	30人 (R5-12 累計)

① 奈良県フォレスターの計画的配置

奈良県フォレスターに任命する予定の奈良県職員（森林管理職）に森林環境管理士資格を取得させ、市町村に計画的に配置します。奈良県フォレスターは、市町村から県が受託する森林法に基づく伐採届に関する事務や森林経営管理法に基づく計画業務などを行い、地域の状況に応じた森林環境管理を推進します。

事業例

- 奈良県フォレスターの養成
- 奈良県フォレスターの市町村配置

② 奈良県フォレスター制度の拡充

市町村に配置した奈良県フォレスターが継続的かつ最大限に能力を発揮するために必要となる、森林技術センターや農林振興事務所、本庁による支援や、キャリアアップに向けた制度の拡充に取り組みます。

事業例

- 市町村に配置したフォレスターのフォローアップ
- 奈良県フォレスターのキャリアアップ制度の確立

(3)新たな森林環境管理制度を担う人材の確保

県内の林業従事者数は平成27年には690人、令和2年には550人と減少傾向にあります。計画期間最終年度である令和12年度の施業面積(6,100ha/年)に対応するためには、高性能林業機械の導入等労働生産性の向上を考慮したとしても、5年間で191人の新規従事者が必要となります。

このため、奈良県フォレスターアカデミーでの人材養成の他、「緑の雇用」現場技能者育成対策事業や林業就業支援講習会などを通して、新規の従事者を確保・育成するとともに、効率的かつ安定的な林業経営を行う「地域の中核的な林業事業体」を育成し、雇用条件や労働安全衛生水準の向上といった雇用管理の改善を促進することにより、林業就業従事者が安心して就業し、働ける環境の整備に取り組めます。

さらに、吉野林業に代表される質の高い木材生産を次の世代に繋げていくため、その育林技術や高齢級・大径材伐採技術の継承を図ります。

目標 森林環境管理を担う人材を確保します。

関連指標

指標設定の趣旨	指標項目	現況値	目標値(R12)
森林環境管理を担う人材の確保の状況を評価する指標として活用	林業の新規従事者数(期間累計)	127人 (R3-6累計)	191人 (R8-12累計)

① 新規林業従事者の確保・育成・定着への支援

新規林業従事者の確保・育成・定着に向け、奈良労働局、奈良県林業労働力確保支援センター、奈良県森林組合連合会、奈良県フォレスターアカデミー等と連携して、就業希望者への情報提供、合同会社説明会などを実施することにより、雇用のマッチングや新規就労に関する広報・啓発活動等に取り組みます。

さらに、効率的かつ安定的な林業経営を行う「地域の中核的な林業事業体」の育成を図り、林業従事者が安心して就業し、働ける環境の整備に取り組みます。

事業例

○新規林業従事者確保等のための関係団体支援

- ・奈良県林業労働力確保支援センター、奈良県森林組合連合会による合同会社説明会開催
- ・奈良県林業労働力確保支援センターによる雇用管理講習会開催

○地域の中核となる林業事業体の育成

② 林業労働の安全衛生確保対策

林業従事者の安定的な確保及び計画的な若返りを図るため、奈良県林業労働力確保支援センターと連携し、雇用関係の明確化、雇用の安定化、労働安全衛生水準の向上、雇用条件の改善など林業従事者が安心して就業できる取組を推進するとともに、林業・木材製造業労働災害防止協会奈良県支部と連携して総合的な安全衛生講習の受講を促します。また、労働強度の軽減となる高性能林業機械等の導入支援に取り組みます。

事業例

○林業事業者に対する雇用管理・改善指導

○林業労働の安全衛生確保対策の巡回指導

○特殊健康診断の促進

○高性能林業機械等の導入支援（森林組合、林業事業者等）

③ 伝統的な育林・伐採技術の継承

吉野林業に代表される高品質で付加価値の高い木材を生産する育林技術や、高齢級・大径材の伐採技術の継承に取り組みます。

事業例

○育林・保育の促進

○高度な林業技術の継承促進